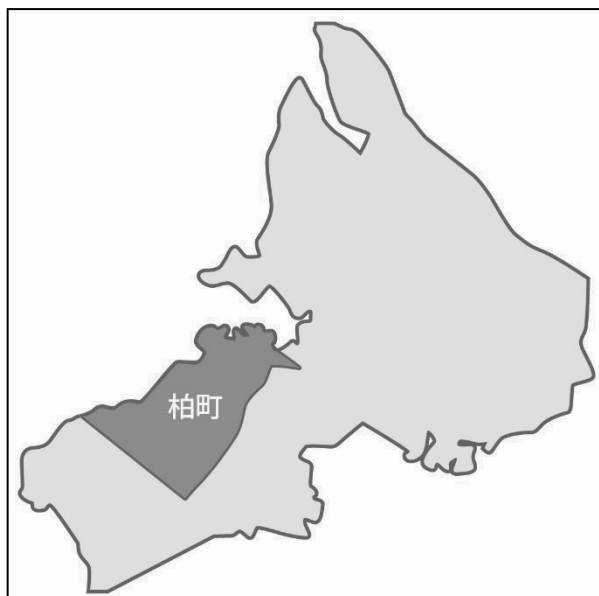


3. 柏町地区

(1) 柏町地区の概況

東武東上線柳瀬川駅の東側に位置し、本町に次いで人口の多い地区です。近年の人口増加率が最も高く、子育て世代も増加しています。

地区の北側を柳瀬川が流れており、土手の桜並木など自然に親しめる空間となっています。また、世界で一本しかない貴重なチョウショウインハタザクラや、カッパ伝説のルーツとなっている宝幢寺など本市を代表する歴史資源が存在しています。



(2) 柏町地区の人口動向

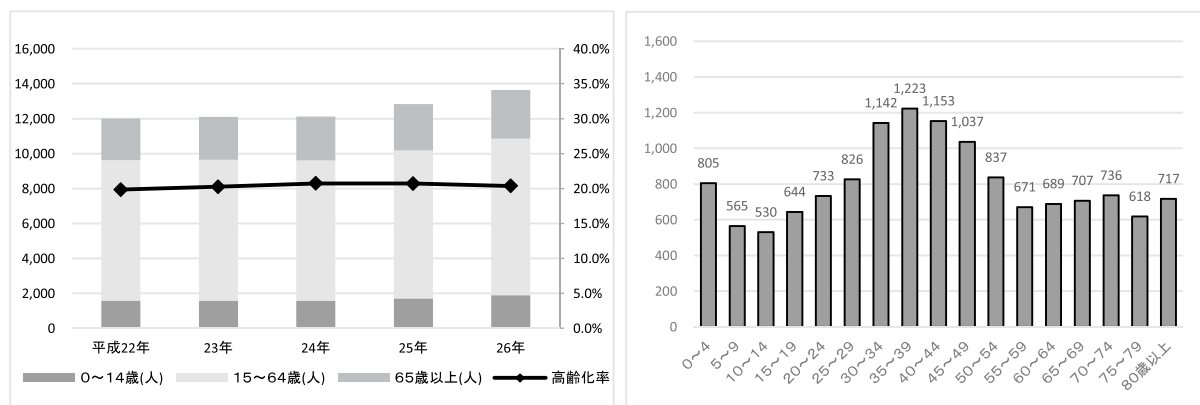
平成24年までは緩やかな増加傾向となっていました。平成25年から平成26年には800人以上の増加となっています。

年齢別の人口構成では、0～4歳と20歳代後半～50歳代前半が多くなっています。

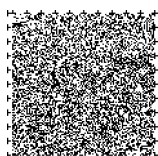
■年齢3区分別人口及び高齢化の推移

	平成22年	23年	24年	25年	26年
総数(人)	12,010	12,099	12,114	12,827	13,633
0～14歳(人)	1,572	1,572	1,574	1,700	1,900
15～64歳(人)	8,056	8,078	8,028	8,471	8,955
65歳以上(人)	2,382	2,449	2,512	2,656	2,778
高齢化率	19.8%	20.2%	20.7%	20.7%	20.4%

■年齢3区分別人口及び高齢化の推移（グラフ） ■平成26年の5歳階級別人口（グラフ）



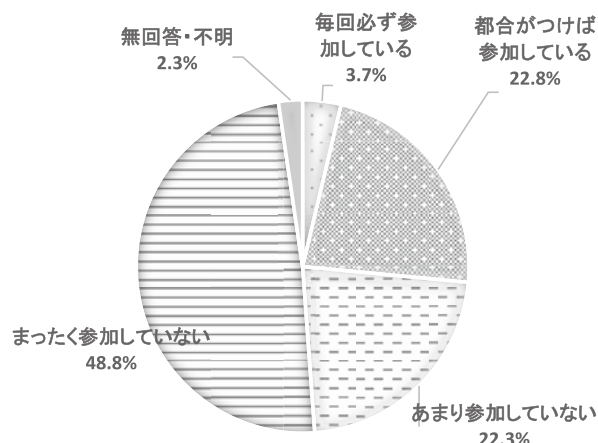
出典：埼玉県町（丁）字別人口調査各年1月1日現在



(3) 柏町地区の市民意識

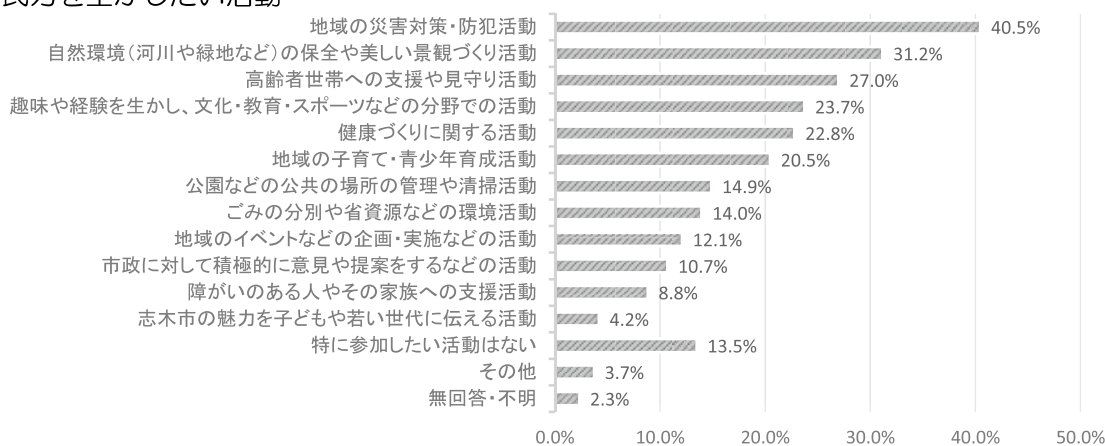
- 地域活動への参加状況は、本町地区や幸町地区と同様の傾向であり、約半数が参加していない状況にあります。
- 市民力を生かしたい活動の内容は、「地域の災害対策・防犯活動」が40.5%と最も高くなっており、災害に対する意識が高いことが特徴的です。

■地域活動への参加



(N=215)

■市民力を生かしたい活動



(N=215)

※市民意識調査(調査項目の中から、「市民力」に関連する項目)を抜粋

(4) 地区まちづくり会議からの主な意見

① 問題点・課題

- ・「防災・防犯」については、災害時の情報提供や不審者対策に関してあがっています。
- ・「高齢化」「コミュニティ」については、高齢者の独り暮らしの多さなどから高齢化対策の必要や地域のつながりの希薄化があがっており、「交通」については、バスの本数増加の必要などがあがっています。
- ・「公共空間・施設」については、公園や遊び場の少なさ等があがっています。

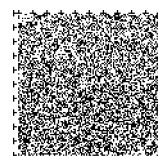
② 優れている点・強み

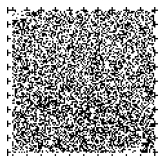
- ・「住環境」について、豊かな自然や静かな住宅地等が強みとしてあがっており、「コミュニティ」では、踊りなどの伝統芸能を子どもが受け継いでいるところがあり、世代間交流が行われている点等があがっています。
- ・駅への交通アクセスの良さ等といった「利便性」も強みとしてあがっています。

③ 地区で主体的に取り組んでいるまちづくり活動

- ・「防犯・防災」に関する活動としてはパトロールや防災訓練の実施、「イベント」に関する活動としては祭り等に取り組まれています。

※地区まちづくり会議の意見から、多かった意見や地区を特徴づける意見を抽出





（５）柏町地区の課題

地区の現状を踏まえ、特に地区で解決すべき重点的な課題として、「地区の活性化」「コミュニティ」「住環境」の３つの視点で課題を整理します。

【地区の活性化に関する課題】

- ・ 貴重な文化財などを生かした良好な地域イメージの形成が求められています。

【コミュニティに関する課題】

- ・ 人口増加が著しい地区であり、住民相互の交流やマンション単位での新規居住者による新たなコミュニティの形成が必要となっています。

【住環境に関する課題】

- ・ 子育て世代が増えている中で、街灯が少なく暗い道路がある、子供を遊ばせる公園が少ないなどが指摘され、安全で安心な生活環境の実現が求められています。
- ・ 鉄道駅があり広域交通の利便性が高い一方で、志木駅と比べて柳瀬川駅は極端にバス路線が少なく、市内の移動手段は限られています。
- ・ 不整形な街区や狭い道路が多く、緊急時対応の不安がみられます。

（６）柏町地区のまちづくり方針

以下の方針に基づき、具体的施策に取り組みます。各地区のまちづくりの方針、具体的施策を推進することで、将来構想に掲げる市の将来像の実現を目指します。

方針１

本市を代表する歴史資源を積極的に活用し、広域交通の利便性が高いだけでなく、歴史に彩られた美しい地域イメージの形成を図ります。

【具体的施策】

文化を育む活動の支援

【取組内容】

市民が伝統文化や郷土芸術に親しむ機会を充実させるとともに、文化を育む活動を推進して継承されていくよう支援します。
また、指定文化財等の保護と保存整備を進め、市民に積極的に紹介し、文化財保護意識の高揚を図ります。

方針２

安心して子育てができるように、公園・遊び場の充実や街灯の適正配置などの空間整備とともに、子育てサポートの拡充を図ります。

【具体的施策】

子育て家庭への支援

【取組内容】

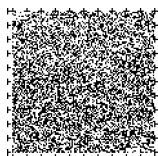
出産や育児に伴う経済的、精神的な不安を軽減し、在宅の子育て家庭を含めたすべての子育て家庭が、安心して楽しく子育てができるよう、ライフステージにあわせた支援を行います。

安全で快適な公園の整備

市民が安全に公園を利用できるよう公園施設のパトロールを実施し、事故防止に努めるとともに、市民との協働による維持管理を進めます。また、公園における世代間交流や地域住民のニーズに合わせた遊具のリニューアル、健康遊具や防災設備の設置など、誰もが快適に過ごせる公園の整備を進めます。

防犯体制の充実

安全で安心なまちづくりを進めるため、犯罪が発生しにくい環境づくりと地域での防犯活動を推進します。



方針 3	コミュニティ施設の充実や市民が集う場づくりなどにより、新旧住民や多様な世代の交流を促進し、市民が一体となった地域活動や住み心地の良いコミュニティの形成を図ります。
-------------	---

【具体的施策】	【取組内容】
地域コミュニティの活性化	町内会をはじめとする地域のコミュニティ団体の育成や活動の支援を通じて、市民のコミュニティ意識の高揚と地域コミュニティの活性化を促進し、豊かな地域社会づくりを推進します。
コミュニティ拠点の整備	地域コミュニティの拠点である町内会館や集会所等について、安全で安心して利用できるよう、必要な整備と活用のための助成を行います。

方針 4	身近に自然を感じることができる良好な住宅地として柳瀬川の自然環境の保全を行い、高低差のある地形を生かした魅力的な景観形成を促進します。
-------------	---

【具体的施策】	【取組内容】
みどり豊かな暮らし	季節を感じ、自然にふれあえる憩いの場を確保するため、志木市緑の基本計画に基づき、将来にわたり市内に残された数少ない緑地の保全に努めます。また、保存樹木の指定による管理費の一部補助や生け垣の設置に対する補助を行い、都市緑化を促進するとともに、市民、市民団体、事業者及び行政による緑化活動を推進します。
持続可能なまちづくりの推進	人口減少や超高齢社会に対応するため、将来にわたって都市機能を適正に維持管理し、各地域が持つ特性を生かした持続可能なまちづくりを推進します。 また、都市の景観を守るため、景観形成の推進を図ります。

